

令和3年度 国語科

学年	学習状況の現状分析と課題	指導方法の課題・改善策・補充・発展指導
1学年	<p>①知識・技能 漢字は長期休業を通じて学習を進めたが、意欲的に取り組んでいる。文法については、熱心に学習しようとする態度が見られるが、生徒間で理解度に差が付き始めている。学習事項の大きなまとまりを作り、振り返る機会を通して理解を深めさせたい。漢字は、単元に取り組む際にその都度復習を行い、本文の中で学ばせる必要がある。</p> <p>②思考・判断・表現 文章を読んで理解することはおおむねできる。理解した後に、自分なりの読みを深めて、思考したり想像の世界を広げることには潜在的な意欲を感じるが、そのための技術や考え方を身につけていない。表現を楽しむ感覚を育て、技能を習得させることが課題である。</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度 全体として授業や課題へはよく取り組んでいる。自分で考えようとする生徒が多く、主体的な学習に意欲も持っている。他の意見をもとに、自己の思考を深める技能を身につけることが課題である。</p>	<p>①知識・技能 文法は単元のまとまりごとに学習内容を整理し、文章の中で理解を進める指導が必要。文法の授業時に限らず、小説や説明文の学習の中でも学習を深める指導を行う。漢字は単元ごとに復習する学習を行っていく。意味や使い方に着目させて進める。</p> <p>②思考・判断・表現 授業内容について説明する割合を減らし、生徒が考えたり、意見交換をしながら理解を深める授業を心がける。グループ学習に限ることなく、意見発表や相互に評価しあうなど工夫する。</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度 発表や意見交換を通して主体的に学習し、思考を深める機会を与える。文章中の疑問点や、気づいた点など、自分で課題を見つけ、解決する学習を通して、自ら学ぶ態度を育てる。</p>
2学年	<p>①知識・技能 語句の意味や漢字については地道に取り組む、習得できている生徒が多い。文法に関しては理解度に差が大きく、1年時の学習内容も含めて振り返りが必要な生徒もいる。漢字や語句は単純な知識としてだけでなく、文章の中で活用できるようにしたい。</p> <p>②思考・判断・表現 期末テスト等の結果から、「読む」「書く」「話す」といった各領域に関して個人差が大きい。特に書くことに関しては苦手意識が強い生徒が多い。</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度 全体として、学習に対して真面目に取り組んでいる。振り返りシートなどで学習内容を整理したり、自分の課題を見つけたりすることに関しては個人差がある。また、課題への取り組み方も工夫して粘り強く取り組む生徒と、そうでない生徒の差がみられる。</p>	<p>①知識・理解 文法など苦手とする生徒が見られる分野に関しては確認の小テストや授業内での振り返りの時間を設け、理解・定着が図れるようにする。漢字や語句を覚えるだけでなく、短作文などに取り組む、活用する力をつける。</p> <p>②思考・判断・表現 書くことに対する苦手意識を減らすよう、短い文章から表現の練習を始め、二百字程度に自分の意見をまとめられるよう継続して指導していく。授業内でのスピーチや読書記録を活用し、様々な力を伸ばしていく。</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度 学習内容の振り返りや自らの課題の整理の仕方については、グループ学習やまとめ方の例示などを通じ、他者との交流も図りながら主体的に学びに向かう力を培っていく。また、各時間の目標を明示することで生徒が見通しをもって学習に取り組めるよう支援する。課題についても丁寧な取り組みができる生徒が増えるよう、継続して指導を行う。</p>
3学年	<p>①知識・技能 全国学力・学習状況調査の結果から、文脈に即して漢字を正しく読む力は95%の正答率であった。また、学力テストの漢字読み取り問題は98%、書き取りは80%の正答率であった。相手や場に応じて敬語を正しく使う力については、2学年での学習に加えて日常生活での使用場面の経験が反映されていると思うが、調査結果は45%の正答率であった。また、調査結果では、文法で主語を問う正答率が61%で、都の平均を1%下回った。</p> <p>②思考・判断・表現 全国学力・状況調査では話す・聞く能力、書く能力、読む能力いずれも正答率が都の平均を4~5%上回っている。記述式の問いへの無回答者の割合がわずかであるが、0.3%都の平均を上回っている。</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度 Chromebookを活用して信頼性のある情報を選択し、説得力のあるスピーチを工夫する学習では、大体の生徒が、進んで信頼性の確かめ方を理解して使い、見通しを持ち学習を進める姿勢が見られた。練習ノート等の提出物にも、進んで工夫したり、粘り強く取り組もうとする態度が表れている生徒が多くなっている。</p>	<p>①知識・技能 既習の教育漢字の読み書きの習得、その他の常用漢字の読み取り能力を一層高めるために、漢字練習ノートを活用させる。文法事項は紛らわしい単語の使い分けについて学習を行う。</p> <p>②思考・判断・表現 語彙を増やし、レトリックを意識した条件作文や意見文を書く機会を設けていく。目的に沿って客観的に分析し、価値を論じられるような批評文を書かせる。</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度 毎時間、学習到達目標を明確にして、一人一人が学びの見通しを立てられる授業を進める。毎時間の振り返りを次の授業への意欲へつなげる。他者の見方考え方を踏まえて、自分の考えを深めていく話し合い等の言語活動を行う。課題提出に対して積極的に取り組む意欲を評価していく。</p>